

令和2年度精華町教育委員会評価報告書

令和3年11月

精華町教育委員会

目 次

I	はじめに	1 P
II	教育委員会の活動状況	
	(1) 会議の開催状況	2 P
	(2) 会議の審議状況	3 P
	(3) 会議の報告等事項	5 P
	(4) その他の活動状況	9 P
	(5) 後援状況	12 P
III	教育委員会施策評価一覧	
	1 教育振興	20 P
	2 教育環境	22 P
	3 歴史	24 P
	4 文化活動	26 P
	5 スポーツ活動	28 P
	6 図書館	30 P
IV	全体評価	32 P
V	第三者評価	37 P

I はじめに

近年、地方分権への取組みが進められる中、教育分野においても内容と制度の両面で地方公共団体の責任と権限が拡大しており、教育行政の責任ある担い手として、中長期的な展望に立って、地域のニーズに応じた教育行政を主体的に企画・実行していくことが、求められています。

精華町教育委員会では、新しい教育委員会制度のもとで地方公共団体の長と教育委員会を構成員とした総合教育会議を設置し、「精華町教育大綱」を制定したほか、地域教育の課題やあるべき姿について意思疎通を図るとともに、教育施策について積極的に意見交換を行うことで、町長と教育委員会が連携して、教育行政の推進に努めているところです。

このように地方の教育行政においても、主体的で積極的な取組が求められている中で、令和2年度の小学校、令和3年度の中学校における新学習指導要領の実施により、外国語教育の充実、プログラミング教育の導入など、新たに盛り込まれた内容について、円滑な実施が求められています。その一方で、教職員の勤務実態が全国的な問題となっており、学校現場における働き方改革の取組を進めることは必要不可欠であることから、本町においても関連する規則や方針の制定を進めるとともに、令和3年度からは、ストレスチェックの内容の充実を図るとともに、すべての教職員が確実に取り組むこととするなど、働き方改革の推進に必要な環境の整備を進めています。

また、人生100年時代に突入しようとしている現代社会において、人生をより良い充実したものとするために、社会人になってからの生涯学習の必要性が高まっています。

本町の教育行政においては、教育大綱と併せて、上位計画に位置付けられている「精華町第5次総合計画」に基づき、教育施策をはじめとした町のさまざまな施策に取り組んでいますが、上述のような教育を取り巻く状況の変化をしっかりと捉えた上で、目標や課題を設定し、進行管理や点検・評価を行っていく必要があります。

本町では、行政評価システムの施策マネジメントシートを活用して、進捗管理に取り組んでおり、これを基に、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成しました。また、報告書の作成にあたっては、評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることが求められていることから、本町と関わりの深い学校教育・生涯学習に経験豊富なお二人に依頼し、点検及び評価についてご意見をいただきました。

この報告書により、教育委員会の活動や施策について町民の皆様のご理解が深まることを願うとともに、この点検及び評価を踏まえ、今後の更なる教育施策の充実に努めてまいります。

II 教育委員会の活動状況

(1) 会議の開催状況

教育委員会会議については、毎月1回「教育委員会定例会」を開催し、令和2年度の合計では11回の会議を開催しました。(新型コロナウイルス感染症の感染拡大による京都府への緊急事態宣言の発令を受け、令和2年4月の定例会については開催を中止し、議決等が必要な内容については書面による表決を実施しました。)

また、町長と教育委員会が連携して、教育行政の推進を図っていくため、総合教育会議を合計2回開催しました。(令和2年4月第1回総合教育会議については教育委員会定例会と同様に開催を中止し、書面による表決を実施しました。)

これらの会議の内容をホームページや広報誌「華創」などに掲載し、住民の皆様にお知らせしました。

(ア) 教育委員会・・・12回(うち1回は開催中止のため書面表決を実施)

○会議開催一覧

番号	告示番号	件名	開催日
1	—	第4回教育委員会	開催中止
2	第5号	第5回教育委員会	令和2年5月26日
3	第6号	第6回教育委員会	令和2年6月29日
4	第7号	第7回教育委員会	令和2年7月28日
5	第8号	第8回教育委員会	令和2年8月28日
6	第9号	第9回教育委員会	令和2年9月28日
7	第10号	第10回教育委員会	令和2年10月21日
8	第11号	第11回教育委員会	令和2年11月30日
9	第12号	第12回教育委員会	令和2年12月22日
10	第1号	第1回教育委員会	令和3年1月26日
11	第2号	第2回教育委員会	令和3年2月26日
12	第3号	第3回教育委員会	令和3年3月25日

(イ) 総合教育会議・・・3回(うち1回は開催中止のため書面表決を実施)

○会議開催一覧

番号	件名	開催日
1	第1回 総合教育会議	開催中止

2	第2回 総合教育会議	令和2年 8月19日
3	第3回 総合教育会議	令和2年12月17日

(2) 会議の審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第21条に定める職務について、同法第25条及び「精華町教育委員会基本規則」の規定に基づき、令和2年度合計で26件審議しました。

○会議の審議状況一覧

議案番号	件名	議決日
令和2年 第12号	精華町社会教育委員の委嘱について	4月28日
第13号	令和2年度精華町議会定例会5月特別会議提出議案に係る意見聴取について（令和2年度精華町一般会計補正予算（第1号））	4月28日
第14号	令和2年度精華町議会定例会6月会議提出議案に係る意見聴取について（令和元年度精華町一般会計補正予算（第8号））	5月26日
第15号	令和2年度精華町議会定例会6月会議提出議案に係る意見聴取について（令和2年度精華町一般会計補正予算（第2号））	5月26日
第16号	令和2年度精華町議会定例会6月会議提出議案に係る意見聴取について（令和2年度精華町一般会計補正予算（第3号））	5月26日
第17号	令和2年度精華町学校教育・社会教育指導の重点について	5月26日
第18号	精華町スポーツ推進委員の委嘱について	6月29日
第19号	精華町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則一部改正について	6月29日
第20号	精華町立学校の教育職員の勤務時間の上限に関する方針について	6月29日
第21号	令和2年度精華町議会定例会8月特別会議提出議案に係る意見聴取について（令和2年度精華町一般会計補正予算（第4号））	7月28日

第22号	令和2年度精華町議会定例会9月会議提出議案に係る意見聴取について（令和2年度精華町一般会計補正予算（第5号））	8月28日
第23号	令和3年度以降に精華町立中学校において使用する教科用図書の採択について	8月28日
第24号	精華町外国語指導助手任用規則制定について	10月21日
第25号	精華町スポーツ推進委員の委嘱について	11月30日
第26号	令和2年度精華町議会定例会12月会議提出議案に係る意見聴取について（令和2年度精華町一般会計補正予算（第6号））	11月30日
第27号	精華町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則一部改正について	11月30日
令和3年第1号	精華町学校教育指導主事設置規則廃止について	1月26日
第2号	精華町社会同和教育指導員設置規則廃止について	1月26日
第3号	精華町社会教育指導員設置等に関する規則廃止について	1月26日
第4号	精華町社会教育委員会運営規則一部改正について	1月26日
第5号	令和3年度小・中学校校長及び教頭に係る人事異動の内申について	2月26日
第6号	令和2年度精華町議会定例会3月会議提出議案に係る意見聴取について（令和2年度精華町一般会計補正予算（第8号））	2月26日
第7号	令和2年度精華町議会定例会3月会議提出議案に係る意見聴取について（令和3年度精華町一般会計予算）	2月26日
第8号	精華町立中学校部活動指導員任用規則制定について	3月25日
第9号	令和3年度精華町学校教育・社会教育指導の重点について	3月25日
第10号	令和3年度精華町奨学生及び精華町社会福祉奨学生の決定について	3月25日

(3) 会議の報告等事項 (84件)

番号	件名	報告日
1	生徒指導報告について	R2. 4. 28
2	いじめ調査集計について	R2. 4. 28
3	中学校卒業生進路状況について	R2. 4. 28
4	教育支援室の相談内容について	R2. 4. 28
5	令和2年度全国学力・学習状況調査について	R2. 4. 28
6	生徒指導報告について	R2. 5. 26
7	重災害事故報告について	R2. 5. 26
8	問題事象の月別発生件数について	R2. 5. 26
9	精華町教育大綱の策定について	R2. 5. 26
10	行事の中止及び延期について	R2. 5. 26
11	公共施設の開館状況について	R2. 5. 26
12	精華町子どもの読書環境整備5か年計画(第四次)について	R2. 5. 26
13	精華町立学校の教育職員の勤務時間の上限に関する方針について	R2. 5. 26
14	6月会議の内容について	R2. 6. 29
15	生徒指導報告について	R2. 6. 29
16	重災害事故報告について	R2. 6. 29
17	問題事象の月別発生件数について	R2. 6. 29
18	教職員の働き方改革に係る勤務時間外の電話対応について	R2. 6. 29
19	各種行事について	R2. 6. 29
20	新型コロナウイルス感染症の対応状況について	R2. 7. 28
21	生徒指導報告について	R2. 7. 28
22	重災害事故報告について	R2. 7. 28
23	問題事象の月別発生件数について	R2. 7. 28

24	G I G Aスクール構築事業の進捗について	R2. 7. 28
25	生徒指導報告について	R2. 8. 28
26	重災害事故報告について	R2. 8. 28
27	問題事象の月別発生件数について	R2. 8. 28
28	いじめ調査集計について	R2. 8. 28
29	大型提示装置の財産取得に係る議案の提案について	R2. 8. 28
30	9月以降の行事等の開催状況について	R2. 8. 28
31	令和2年度定例会9月会議 議会関係対応について	R2. 9. 28
32	生徒指導報告について	R2. 9. 28
33	重災害事故報告について	R2. 9. 28
34	問題事象の月別発生件数について	R2. 9. 28
35	就学援助制度の特例の適用について	R2. 9. 28
36	精華町教育委員会所管施設指定管理者評価委員会における 審査及び評価結果について	R2. 9. 28
37	令和4年度以降における精華町成人式の対象について	R2. 9. 28
38	図書館年報について	R2. 9. 28
39	令和2年度の精華町の人権関連事業について	R2. 10. 21
40	生徒指導報告について	R2. 10. 21
41	重災害事故報告について	R2. 10. 21
42	問題事象の月別発生件数について	R2. 10. 21
43	相楽地方中学校陸上競技大会及び総合体育大会の結果につ いて	R2. 10. 21
44	東光小学校における通級指導教室の開設について	R2. 10. 21
45	令和4年度以降における精華町成人式の対象年齢について	R2. 10. 21
46	令和3年度教育部の予算要求の概要について	R2. 11. 30
47	生徒指導報告について	R2. 11. 30
48	重災害事故報告について	R2. 11. 30

49	問題事象の月別発生件数について	R2. 11. 30
50	山城地方中学校体育大会駅伝競走の部について	R2. 11. 30
51	令和元年度精華町精華町教育委員会評価報告書について	R2. 11. 30
52	精華町教育員会所管施設指定管理者評価委員会における審査及び評価結果について	R2. 11. 30
53	G I G Aスクール構想の工程について	R2. 11. 30
54	成人式について	R2. 11. 30
55	精華町議会定例会 1 2 月会議について	R2. 12. 22
56	新型コロナウイルス感染症の対応状況について	R2. 12. 22
57	生徒指導報告について	R2. 12. 22
58	重災害事故報告について	R2. 12. 22
59	問題事象の月別発生件数について	R2. 12. 22
60	東京 2 0 2 0 オリンピック聖火リレーについて	R2. 12. 22
61	新型コロナウイルス感染症の対応状況について	R3. 1. 26
62	生徒指導報告について	R3. 1. 26
63	重災害事故報告について	R3. 1. 26
64	問題事象の月別発生件数について	R3. 1. 26
65	生徒指導報告（4月～12月）について	R3. 1. 26
66	いじめ調査集計について	R3. 1. 26
67	令和3年度精華町成人式について	R3. 1. 26
68	相楽「少年の主張」大会について	R3. 1. 26
69	精華町民文化賞・スポーツ賞について	R3. 1. 26
70	京都府暫定登録文化財の認定について	R3. 1. 26
71	令和3年度施政方針及び令和3年度主な事業について	R3. 2. 26
72	生徒指導報告について	R3. 2. 26
73	重災害事故報告について	R3. 2. 26

74	問題事象の月別発生件数について	R3. 2. 26
75	令和3年度学校教育の指導の重点及び社会教育指導の重点について	R3. 2. 26
76	G I G Aスクール構想の実現に向けたI C T教育環境の整備について	R3. 2. 26
77	令和2年度精華町民文化賞・スポーツ賞について	R3. 2. 26
78	京都府決定文化財の認定について	R3. 2. 26
79	鞍岡神社周辺の森林整備と遊歩道整備に係る式典について	R3. 2. 26
80	令和2年度精華町議会定例会3月会議について	R3. 3. 25
81	生徒指導報告について	R3. 3. 25
82	重災害事故報告について	R3. 3. 25
83	問題事象の月別発生件数について	R3. 3. 25
84	東京オリンピック聖火リレーについて	R3. 3. 25

(4) その他の活動状況

(ア) 学校・社会教育施設訪問

<学校訪問>

- ①令和2年10月22日(木)
午前 山田荘小学校

- ②令和2年10月29日(木)
午後 精華中学校

- ③令和2年11月2日(月)
午後 精華南中学校

- ④令和2年11月4日(水)
午後 精華台小学校

- ⑤令和2年11月5日(木)
午後 精華西中学校

- ⑥令和2年11月12日(木)
午前 川西小学校

- ⑦令和2年11月19日(木)
午後 精北小学校
午後 東光小学校

(イ) 教育委員会に関わる会議等に出席した内容

月	各種行事・大会等	
	精華町関係	国・府関係（開催場所）
4月	4/1 教職員辞令交付式・着任式 4/7 小学校入学式 4/8 中学校入学式	
5月		5月 山城地方教育委員会連絡協議会 総会・研修会 ※新型コロナにより書面表決 5月 京都府市町村教育委員会連合会 総会・研修会 ※新型コロナにより書面表決
7月		7/3 相楽地方教育委員会連絡協議会 教育委員合同研修会（木津川市） ※新型コロナにより中止
8月	8/19 第2回総合教育会議	
11月		11/2 京都府内市町（組合）教育委員 研修会（京都市） ※新型コロナにより中止 11/10 近畿市町村教育委員会研修大会 （神戸市） ※新型コロナにより中止
12月	12/17 第3回総合教育会議	
2月	12/17 第3回総合教育会議	2月 山城地方教育委員会連絡協議会 教育委員研修会 ※新型コロナにより中止
3月	3/12 中学校卒業証書授与式 3/19 小学校卒業証書授与式	

(ウ) 新型コロナウイルス感染症の影響により中止等となった会議等

月	各種行事・大会等（精華町関係）	対応
4月	4/28 第1回総合教育会議	書面表決
6月	6/5 せいか祭り実行委員会 6/26 精華町人権啓発推進委員会総会 6/3～5 あいさつ運動 6/26 精華町人権啓発推進委員会講演会	書面表決 書面表決 中止 中止
7月	7/12 精華町青少年健全育成協議会総会 7月下旬 精華町子ども議会	書面表決 中止
8月	8月 青少年健全育成標語選考委員会 8/27～29 あいさつ運動	中止 中止
9月	9/26 小学校運動会	規模縮小
10月	10/9 精華町小学校陸上交歓記録会（宇治市） 10/17 山城地方中学校駅伝競走大会 10/23 中学校体育大会 10/4 第2回せいか健康・スポーツ交流フェスティバル 10月 せいか祭り実行委員会	規模縮小 規模縮小 規模縮小 中止 中止
11月	11/4 相楽地方中学校音楽交流会 11/7 相楽地区小学校駅伝大会（宇治市） 11/15 せいか祭り 2020 11/15 第18回精華町子ども祭り	中止 中止 中止 中止
12月	12/5 第14回やましろ未来っ子 EKIDEN（宇治市）	中止
1月	1/13 精華町成人式 1/8～10 あいさつ運動	規模縮小 中止
2月	2/21 相楽少年の主張大会	中止 中止
3月	3/8 地域で子どもを育てる連絡協議会 3/20 精華中学校 第10回収穫祭	書面表決 中止

(5) 後援状況

○令和2年度後援事業 <学校教育関係>

実施期日	事業名	申請者	実施場所
	該当事業なし		

○令和2年度後援事業 <社会教育関係>

実施期日	事業名	申請者	実施場所
スクール活動：年14回 週末活動：年4回	スプリングスクール・サマースクール・ウインタースクール 週末活動の取り組み	精華町支援学校生親の会 会長 山河 佳恵	地域福祉センター かしのき苑, むくのきセンター等
①, ②…毎月22日(原則) ③, ④…夏～秋頃を予定	①せいか小さな旅 ②ふるさと発見の旅 ③展示会 ④講演会、その他	特定非営利活動法人 精華町ふるさと案内人の会 理事長 古瀬 治男	精華町内及び近隣市町村
令和2年4月11日 (土) 13:00～16:00	第26回相楽子どもの交通安全 意見発表	京都府木津警察署 署長 大江 輝幸	木津川市中央交流会館 (いずみホール)
令和2年4月14日 (火) 10:00～11:00 令和2年4月28日 (火) 10:00～11:00	大正琴体験教室	琴伝流大正琴 楽遊・ドルチェ 村上 彰琇(智子)	むくのきセンター 研修室
令和2年4月19日 (日)	大住シンフォニックバンド第 27回定期演奏会	大住シンフォニックバンド 尾崎 みずほ	八幡市文化センター 大ホール
令和2年4月19日 (日) 12:30～16:00	精華町いのちのリレーまつり 2020	精華町いのちのリレー プロジェクト実行委員会 社会福祉法人 精華町社会福祉協議会 会長 長谷川 悟	精華町地域福祉センター かしのき苑

①令和2年4月25日 (土) ②令和2年5月2日 (土) 両日とも 10:00～ 11:30	VIPERS KIDS チアリーダー 体験会	VIPERS KIDS 梅原 直子	むくのきセンター
令和2年4月29日 (水・祝) 14:00開演	高の原音楽芸術協会 第5回定期演奏会	高の原音楽芸術協会 演奏会担当理事 杉山 満美子	奈良市北部会館 市民文化ホール
令和2年5月17日 (日) 13:00～15:20	2020年 大正琴ふれあい発表会 15周年記念	琴伝流大正琴 楽遊・ド ルチェ 村上 彰琇(智子)	木津川市中央交流 会館(いずみホー ル)
令和2年6月7日 (日), 令和2年12 月13日(日)	けいはんなフィルハーモニー 管弦楽団演奏会	けいはんなフィルハー モニー管弦楽団 団長 中川 晋一	京都府立けいはん なホール メイン ホール
令和2年7月5日 (日)、7月12日(日) 各日共2回実施 10:00～12:00, 13:30 ～15:30	理科工作・簡易モーター3種類 にチャレンジ	せいか自然観察倶楽部 代表 山下 葵	むくのきセンター
令和2年7月12日 (日) 14:00～16:00	合唱団 Rinte 第13回定期演奏 会	合唱団 Rinte 桜井 哲樹	奈良100年会館 中ホール
令和2年7月19日 (日)、7月25日(日) 各日共2回実施 10:00～12:00, 13:30 ～15:30	理科工作・万華鏡3種類にチャ レンジ	せいか自然観察倶楽部 代表 山下 葵	むくのきセンター
令和2年7月23日 (木)、24日(金)、 26日(日) 各日共2回実施 10:30～12:00, 13:30 ～15:00	読み聞かせ&サイエンス	せいか自然観察倶楽部 代表 山下 葵	むくのきセンター

令和2年7月23日 (木)～9月27日(日) の土日祝のうち6日 間	謎解きウォーキング「アルクエ スト」	特定非営利活動法人 neogalaxy 代表理事 入山 忠	イオンモール 奈 良登美ヶ丘 など
令和2年7月25日 (土)・26日(日) 10:00～15:30	サイエンス夏祭り 2020	特定非営利活動法人 やましろきつづサイエ ンス 理事長 佐々木 和也	山城総合文化セン ター (アスピアや ましろ)
①令和2年8月8日 (土)～8月12日(水) 4泊5日 ②令和2年8月13日 (木)～8月17日(月) 4泊5日 ③令和3年2月中旬 リユニオン	けいはんな国際子どもキャン プ	特定非営利活動法人 けいはんな文化学術協 会 理事長 高橋 克忠	生駒山麓公園ふれ あいセンター けいはんなプラザ 交流棟
令和2年8月9日(日) 13:00～16:00	一般社団法人山城青年会議所 8月例会 (SDGs 勉強会)	一般社団法人 山城青年会議所 理事長 尾形 賢	むくのきセンター 会議室, 研修室, 調理実習室 近隣の畑 (農業体 験)
令和2年8月9日(日) ～8月10日(月) 令和3年3月27日 (土)～3月28日(日)	けいはんなグローバルキャン プ	特定非営利活動法人 けいはんな文化学術協 会 理事長 高橋 克忠	けいはんなプラザ
令和2年8月30日 (日) 2回実施 10:00～ 12:00, 13:30～15:30	せいかで楽しくお茶体験	せいか自然観察倶楽部 代表 山下 葵	むくのきセンター 和室
募集開始 令和2年9 月～ 動画審査 令和2年 12月4日(金)締め 切り 表彰式 令和2年 12月13日(日) 14:00 ～15:00	第19回日本語による外国人の メッセージコンテスト	精華町長 杉浦 正省	せいかグローバル ネット・ホームペ ージ

令和2年9月13日 (日) 10:00~16:00	お寺でサイエンス・夏バージョン	せいか自然観察倶楽部 代表 山下 葵	常念寺(伏見区淀水垂町)
令和2年9月19日 (土)~9月21日(月・祝) 12:40~16:40	親子で神輿を体験してみよう!	科学普及支援団体 てんもんぶ 樋谷 則夫	けいはんな記念公園 デジタルセンター地階 研修室
令和2年9月21日 (月・祝)~9月22日 (火・祝) 9:00~16:30	縁奏会 2020 ~絆の証~	縁奏会 実行委員会 (洛南高等学校吹奏楽部 顧問) 池内 毅彦	京都コンサートホール 大ホール
令和2年10月11日 (日) 10:00~12:00	わくわく自然体験「バッタのオリンピック」	けいはんな科学共育デザインラボ 片岡 佐知子	けいはんな記念公園
第1回 10月24日 (土) 17:00~19:30 第2回 11月21日 (土) 16:00~18:30 第3回 11月28日 (土) 16:30~19:00 第4回 12月12日 (土) 16:00~18:30	けいはんな子ども天文クラブ	けいはんな科学共育デザインラボ 片岡 佐知子	けいはんなオープンイノベーションセンター 奈良学園小学校
令和2年10月25日 (日) ①10:00~12:00 ② 13:30~15:30	理科工作・地上望遠鏡づくり	きょうたなべ自然観察倶楽部 代表 河合 佳	京田辺市中部住民センター「せせらぎ」
第1回: 令和2年10月25日(日) 第2回: 令和2年11月1日(日) 第3回: 令和2年11月8日(日) 午前の部 10:00~12:00・午後の部 13:00~15:30	「森のねんどで、輝く未来まちづくり」教室	SEIKA クリエイターズインキュベーション推進拠点コンソーシアム 代表(精華町長) 杉浦 正省	SEIKA クリエイターズインキュベーションセンター

①10月25日(日) 11:00~12:00、13:00 ~14:00 ②12月13日(日) 11:00~12:00、13:00 ~14:00 ③1月17日(日) 11:00~12:00、13:00 ~14:00	~将来の宇治茶ファンを~ 「お茶育」推進事業 「親子で宇治茶レンジ」	京都府山城広域振興局 局長 川口 龍雄	オンライン形式
令和2年10月29日 (木) 19:00~21:00	祝園 NEW MORAL 講演会「卑弥 呼誕生と疫病」	相楽西モラロジー事務 所 代表世話人 高橋 武博	酔月(オンライン 同時配信)
令和2年10月31日 (土) 9:30~12:00	歩こう!学ぼう!まち探検ク イズラリーin けいはんな ~みんなで元気UP~	株式会社けいはんな 代表取締役 荒木 康寛	けいはんなプラザ 日時計広場 ほか
令和2年11月2日 (月) ~令和2年12 月25日(金)	令和2年度「科学に関する絵画 展」	公益財団法人 奈良先端科学技術大学 院大学支援財団 理事長 小林 哲也	高山サイエンスプ ラザ
令和2年11月14日 (土) 9:30~11:30 令和2年12月12日 (土) 9:30~11:30	わくわく自然体験「芽ぶきの森 でリース作り」	けいはんな科学共育デ ザインラボ 片岡 佐知子	けいはんな記念公 園
令和2年11月5日 (木) 13:00~17:00 令和2年11月6日 (金) 10:00~17:00 令和2年11月7日 (土) 10:00~17:00	けいはんなR&Dフェア2020	けいはんなR&Dフェア 実行委員会 委員長 中川 雅永	オンライン開催
令和2年11月15日 (日)、22日(日)、 23日(月) 各日共2回実施 10:00~12:00、13:30 ~15:30	「理科工作」秋バージョン	せいか自然観察倶楽部 代表 山下 葵	むくのきセンター (11/15,22) 京田辺市せせらぎ (11/23)

令和2年11月21日 (土)、22日(日)、23日 (祝・月) 13:30~16:00	けいはんなロボット体験教室	けいはんな学研都市活 性化促進協議会 座長 野島 学	けいはんなプラザ 京都府立けいはん なホール
令和2年11月21日 (土) 14:00キックオ フの1試合	2020 京都サンガ F.C. ホームゲ ーム小学生無料招待事業	株式会社京都パープル サンガ 代表取締役社長 伊藤 雅章	サンガスタジアム by KYOCERA
令和2年11月23日 (月・祝) 10:00~ 15:30	サイエンス秋祭り 2020	特定非営利活動法人 やましろきつづサイエ ンス 理事長 佐々木 和也	奈良市北部会館・ 市民文化ホール
令和2年11月23日 (月) 14:00~	環境のつどい	精華町健康福祉環境部 環境推進課 課長 竹島 康人	精華町役場交流ホ ール
令和2年12月12日 (土) 10:00~11:30	理科実験工作教室「風力発電機 を作ろう」	SEIKA クリエイターズイ ンキュベーション推進 拠点コンソーシアム 代表 (精華町長) 杉浦 正省	SEIKA クリエイタ ーズインキュベー ションセンター
令和2年12月13日 (日)、20日(日) 各日共2回実施 10:00~12:00, 13:30 ~15:30	「人・自然・科学を結ぶ天体観 測」冬バージョン	せいか自然観察倶楽部 代表 山下 葵	むくのきセンター
令和2年12月26日 (土) ~12月27日 (日)	2020 けいはんなサイエン ス・デイキャンプ	特定非営利活動法人 けいはんな文化学術協 会 理事長 高橋 克忠	けいはんなプラザ
令和3年1月10日 (日)、11日(月)、 24日(日) 各日 10:00~12:00, 13:30~15:30	ちりめんモンスターを見つけ る!	せいか自然観察倶楽部 代表 山下 葵	むくのきセンター 第3会議室
令和3年1月15日 (金)、29日(金) 13:00~14:00	大正琴体験教室	琴伝流大正琴 楽遊・ド ルチェ 村上 彰琇(智子)	むくのきセンター 研修室

令和3年1月19日 (火)、2月2日(火)、 2月16日(火)、2月 20日(土)	みんなでつくろう けいはん な今昔物語	株式会社けいはんな 代表取締役社長 荒木 康寛	けいはんなプラザ 京都府立けいはん なホール 会議室
令和3年2月13日 (土) 14:00~18:00	わくわくドキドキ!!理科「探 究実験・観察」体験会	特定非営利活動法人 架け橋 mirai 理事長 折田 泰宏	
(A) 令和3年2月13 日(土) 10:00~16:00 【実開催】 (B) 令和3年2月13 日(土) ~2月28日 (日) 【WEB開催】	けいはんな科学体験フェステ ィバル 2021	けいはんな科学コミュ ニケーション推進ネッ トワーク 代表 池内 了	(A) けいはんな プラザ「イベント ホール」 (B) WEB
令和3年2月21日 (日) 10:00~12:00	国際理解講座「第24回地球つ こ講座」	精華町長 杉浦 正省	Zoomを使用したオ ンライン
令和3年2月21日 (日) 13:30~16:30	第28回相楽「少年の主張」大 会	青少年育成協会相楽連 絡協議会 会長 山本 幸男	南山城村文化会館 やまなみホール
第1回 令和3年3 月7日(日) 13:00~ 15:00 第2回 令和3年3 月14日(日) 13:00 ~15:00	工作で学ぶ わくわく光の科 学	けいはんな科学共育デ ザインラボ 片岡 佐知子	けいはんなオーブ ンイノベーション センター 奈良学園小学校
令和3年3月13日 (土) 10:00~11:30 令和3年3月16日 (火) 10:00~11:30 令和3年3月16日 (火) 19:00~20:45	講座「多言語で世界の人とつな がろう。」	一般財団法人 言語交流研究所 ヒッ ポファミリークラブ 代表理事 鈴木 堅史	ZOOMによるオンラ イン講座
令和3年3月27日 (土)~3月28日(日)	2021 けいはんなサイエン ス・デイキャンプ	特定非営利活動法人 けいはんな文化学術協 会 理事長 高橋 克忠	オンライン

○令和2年度後援事業 <図書館関係>

実施期日	事業名	申請者	実施場所
	該当事業なし		

○令和2年度後援事業 <社会体育関係>

実施期日	事業名	申請者	実施場所
令和2年7月25日 (土) から 令和2年10月11日 (日) まで	学童野球大会 (第88回京都南山城少年野球大会)	南京都少年野球連盟京都 南山城支部 味田 憲一	京田辺市運動公園 野球場他、木津川 市、相楽郡、綴喜 郡の学校及びグラ ウンド
令和2年10月11日 (日) ~11月22日 (日) 迄の各土、日 曜日、及び祝日	第138回南京都少年野球大会 並びに 第40回洛タイ新報旗争 奪大会 並びに 第42回京都府 知事杯争奪大会 並びに 第4回 ナガセケンコー旗争奪大会	南京都少年野球連盟 理事長 杉下 定己	初日、京田辺市公 園野球場で9:00か ら開会セレモニー 以後、城陽市、京 田辺市、精華町他、 南山城地域のグラ ウンド
令和3年2月13日 (土) ~3月21日迄 の各日曜日、及び祝 日	第139回南京都少年野球大会並 びに第40回京都新聞旗争奪大 会	南京都少年野球連盟 理事長 杉下 定己	初日、太陽が丘第 一野球場にて 10:00より開会式。 以降 城陽市、京 田辺市、精華町他 南山城地域のグラ ウンド
令和3年3月27日 (土) から 令和3年5月9日(日) まで	学童野球大会 (第89回京都南山城少年野球大会)	南京都少年野球連盟京都 南山城支部 頓花 美千雄	京田辺市運動公園 野球場他、木津川 市、相楽郡、綴喜 郡の学校及びグラ ウンド

1. < 施策の概要 >

基本構想	未来をひらく文化と環境のまちづくり	統括課	教育部・学校教育課
基本計画	学校教育		教育支援室、企画調整課、精北小学校
施策	教育振興	関連課	川西小学校、山田荘小学校、東光小学校
方針・目標等	◆子どもたちに魅力ある学校教育の推進 ◆地域と一体的な子どもたちを守り育てる教育 ◆豊かな人間性の育成		精華台小学校、精華中学校
			精華南中学校、精華西中学校
実施内容	◆学研都市の資源を活かした創意ある教育活動 ◆学力の充実・向上と個性の伸長を図る教育 ◆豊かな人間性の育成と健康や体力の向上を図る教育 ◆開かれた学校づくり		

2. < 指標の設定 >

①	重点	指標	単位	他団体比較		算式・引用等	
				団体名／実績／年度			
①	○	学校図書蔵書達成率	%	府内100%達成校の割合 50.1【参考】	28	蔵書冊数の合計/標準冊数の合計	
②	○	学研立地機関等出前授業件数	件			学校教育課調べ	
③		学力テスト平均点(中学生)	点	府内平均 65.6	1	国、数、英の平均点	
④		学力テスト平均点(小学生)	点	府内平均 64.7	1	国、算の平均点	
⑤		児童・生徒千人あたりの問題事象発生件数	件	山城地域平均 27	1	件数/全児童生徒数×1,000	
		H29(実績)	H30(実績)	R 1(実績)	R 2(実績)	R 3(試算)	R 4(試算)
①	目標	85.0	90.0	100	100	100	100
	実績	94.2	100.6	102.1	105.8		
②	目標	22	22	24	24	24	24
	実績	20	24	21	5		
③	目標	77.7	77.7	77.7	77.7	77.7	77.7
	実績	67.5	69.8	70.8	実施せず		
④	目標	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6
	実績	70.9	70.6	65.7	実施せず		
⑤	目標	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	実績	11.4	15.7	11.5	5.2		

3-1. < 指標から読み取れる成果と課題 >

<p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、4、5月を臨時休業としたため、学力診断テストが実施できなかった。臨時休業期間中は個別学習プリントを配布した復習を中心として基礎学力の定着を図るとともに、夏季及び冬季休業期間を短縮して必要な授業時数を確保した。</p> <p>○児童らが参加できる図書選書会を行い、児童らが興味を持つ図書の購入を行った。</p> <p>○問題事象の発生件数は、各校のきめ細かな取組により減少した。今後も、引き続き事象に応じた適切で丁寧な生徒指導を保護者の理解も得ながら進め、児童生徒の健全育成に努めていく。</p>
--

3-2. < 住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点 >

<p>○学力向上のために少人数教育と専門職員の配置の充実を図ると同時に、ICTの活用により、一層の学力の充実を図る。</p> <p>○「精華町いじめ防止基本方針」をもとに、学校・家庭・地域が連携し、いじめの早期発見・早期対応に努めるとともに、スクールカウンセラー等を有効に活用し、児童生徒と保護者が信頼し安心して相談できるよう努める。</p> <p>○全中学校区に設立したコミュニティ・スクールを活用し、地域と学校が一体となって子どもたちを育てる教育に取り組む。</p>

4-1. <施策を構成する主な事業>

	重点	部 門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
			H29(実績)	H30(実績)	R 1(実績)	R 2(実績)	R 3(予算)	R 4(試算)
1		教育部・学校教育課	25,598	27,660	27,460	26,886	30,647	30,442
		学級支援員配置事業	23,828	25,908	25,258	25,319	29,000	29,000
		一般事業 209	10,828	9,908	8,258	2	10,000	9,000
2		教育部・学校教育課	5,301	5,403	5,530	4,467	6,763	7,718
		いじめ等対策事業	3,682	3,801	3,779	3,389	4,633	4,623
		一般事業 209	3,682	3,801	3,779	3,389	2,633	4,623
3	○	教育部・学校教育課	40,525	39,294	36,158	43,663	38,362	59,424
		小学校教育振興関係経費 (小学校5校分含む)	34,278	33,111	29,193	38,256	30,993	51,052
		一般事業 -	29,621	27,794	28,420	34,222	25,893	46,982
4	○	教育部・学校教育課	30,041	35,431	48,190	25,728	49,113	40,494
		中学校教育振興関係経費 (中学校3校分含む)	25,839	30,108	41,993	20,520	41,744	33,215
		一般事業 -	23,571	27,854	39,027	17,215	37,094	29,796
5		教育部・学校教育課	30,214	32,221	28,703	28,365	30,198	29,162
		要・準要保護児童・生徒就学 援助事業(小・中学校)	24,464	26,529	23,059	22,686	26,098	26,278
		一般事業 -	23,592	25,749	22,279	19,711	24,859	25,629
6		教育部・学校教育課	86,185	81,996	121,814	150,061	162,871	174,903
		私立幼稚園関係助成事業幼児 教育・保育無償化事業	81,862	77,717	115,151	146,356	155,950	167,160
		一般事業 -	61,371	57,841	54,067	49,651	52,540	56,760
7		教育部・学校教育課	4,547	4,457	4,788	4,083	3,685	5,329
		教育委員会運営費	1,007	953	988	1,048	1,103	1,105
		一般事業 205	1,007	953	988	1,048	1,103	1,105
8		教育部・学校教育課	77,959	79,643	77,944	75,110	78,274	81,251
		事務局一般事務経費等4 事業	60,812	62,839	63,684	63,773	66,318	67,922
		一般事業 -	58,009	60,550	61,078	61,433	61,831	64,896
9	○	総務部・企画調整課	6,736	5,640	4,651	4,815	5,914	5,914
		科学のまちの子どもたち プロジェクト	4,286	3,203	2,619	3,341	4,440	4,400
		一般事業 69	3,290	3,181	2,619	1,900	4,440	4,400
10								

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

- 精華町学力向上総合推進委員会からテストの結果分析や授業改善例の提示を受け、個に応じた指導へと展開した。今後も学習意欲を引き出せるよう授業改善に努めた。
- きめ細やかな教育推進のため、学校現場が必要とする専門職員の配置に努めた。
- 幼児教育・保育の無償化の円滑な実施に努めた。
- 新型コロナウイルスによる授業への影響に備え、国のGIGAスクール構想を前倒しで実施し、児童生徒1人1台の情報端末や大型モニターなどを整備した。
- 「科学のまちの子どもたち」プロジェクトでは、一部にオンラインも活用しながら、学研都市の特色を活かした科学やモノづくりを学ぶ機会を提供した。

5. <施策の今後の方向性>

- 個に応じたきめ細やかな指導や支援が行える体制を継続させる。
- 情報教育アドバイザーの支援などにより教員のICT機器の操作能力を高め、児童生徒への教育活動での積極的な活用を進める。
- 外国語教育やプログラミング教育など、ICTの活用による効果的な指導を行う。
- 教育支援室の機能を発揮させ、引き続き教育相談活動を継続させる。
- 精華町教育大綱に沿って、教育のまちづくりを着実に推進する。

1. <施策の概要>

基本構想	未来をひらく文化と環境のまちづくり	統括課	教育部・学校教育課
基本計画	学校教育		教育支援室、精北小学校
施策	教育環境	関連課	川西小学校、山田荘小学校、東光小学校
方針・目標等	◆子どもたちが安全で安心できる学校生活 ◆快適で安心して学べる教育環境の整備 ◆食育の推進 ◆子どもたちの安全確保 ◆安心できる良好な教育環境		精華台小学校、精華中学校
			精華南中学校、精華西中学校
実施内容	◆小中学校施設耐震化の早期完了 ◆空調設備の完備 ◆バリアフリー化 ◆中学校への給食導入		

2. <指標の設定>

①	重点	指標	単位	他団体比較		算式・引用等	
				団体名	実績/年度		
①	○	学校耐震化率	%	府内平均 100	2	耐震改修状況調査(京都府)	
②	○	普通教室空調設備設置率	%	府内平均 100	2	空調設備の設置状況調査(京都府)	
③		学校施設防災機能の充実	%			設置済み校数/全学校数	
④		学校給食実施率	%	全国平均 95.9	30	学校給食実施校数/全国小中学校数	
⑤							
		H29(実績)	H30(実績)	R 1(実績)	R 2(実績)	R 3(試算)	R 4(試算)
①	目標	100	100	100	100	100	100
	実績	100	100	100	100		
②	目標	44.3	100	100	100	100	100
	実績	44.3	100	100	100		
③	目標	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
	実績	75.0	75.0	75.0	75.0		
④	目標	62.5	62.5	62.5	62.5	62.5	62.5
	実績	62.5	62.5	62.5	62.5		
⑤	目標						
	実績						

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

○児童生徒の安全を確保し、安心できる教育環境の整備を目指し、学校施設の耐震化対策を最優先課題として進め、国の耐震化完了の目標年度である平成27年度までに、すべての学校施設の耐震化対策を完了させることができた。(耐震化率100%を達成)

○小中学校のすべての普通教室への空調設備の整備が完了し、快適な教育環境を整えることができた。(中学校:平成29年度整備、小学校:平成30年度整備)

○学校については、指定避難所でもあることから、備蓄倉庫、自家発電設備、太陽光発電設備などの防災機能の充実を目指す。

○令和5年2学期からの中学校給食開始に向けて、防災食育センターの建設等の取組みを進めた。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

○学校施設の耐震化、普通教室への空調設備整備が完了し、教育環境の改善を図ることができた。次の教育行政の課題である中学校給食の導入に向けて、防災食育センター建設に向けた取組を着実に進めていく。

○学校施設は、災害発生時の指定避難所として重要な役割を果たすことから、日常の安全点検を徹底し、また防災機能を備えた施設であることが求められる。

4-1. <施策を構成する主な事業>

重点	部門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
		H29(実績)	H30(実績)	R 1(実績)	R 2(実績)	R 3(予算)	R 4(試算)
1	○ 教育部・学校教育課	107,901	108,064	140,817	115,538	140,788	169,207
	小学校管理運営事業(小学校5校含む)	97,574	97,843	130,927	108,498	133,419	160,702
	一般事業 -	97,194	96,816	104,436	108,498	103,919	104,702
2	教育部・学校教育課	135,413	135,181	134,948	134,215	134,733	134,556
	都市機構立替施行償還事業(小学校分)	134,375	134,153	133,930	133,708	133,489	133,265
	一般事業 223	134,375	134,153	133,930	133,708	133,489	133,265
3	○ 教育部・学校教育課	66,676	60,325	64,315	60,690	65,170	82,151
	中学校管理運営事業(中学校3校含む)	58,153	51,889	55,277	54,828	57,801	74,872
	一般事業 -	50,312	51,560	55,062	54,489	57,551	57,622
4	教育部・学校教育課	309,033	276,447	165,101	164,719	165,500	165,682
	都市機構立替施行償還事業(中学校分)	307,995	275,419	164,167	164,212	164,256	164,309
	一般事業 231	307,995	275,419	164,167	164,212	164,256	164,309
5	○ 教育部・学校教育課	94,609	95,841	86,228	94,914	98,574	99,126
	給食管理運営事業(小学校5校含む)	43,941	45,696	44,950	50,370	55,830	51,800
	一般事業 -	43,941	45,696	44,950	50,083	55,830	51,800
6	○ 教育部・学校教育課	0	0	0	20,726	423,414	453,749
	防災食育センター建設事業	0	0	0	15,734	420,429	441,015
	一般事業 247	0	0	0	3,269	0	110,254
7	教育部・学校教育課	0	0	0	240,832	0	0
	GIGAスクール構築事業等	0	0	0	233,114	0	0
	一般事業 -	0	0	0	0	0	0
8	教育部・学校教育課	0	0	0	42,082	0	0
	新型コロナウイルス感染症対策関連経費等	0	0	0	31,575	0	0
	一般事業 -	0	0	0	38	0	0
9							
10							

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

○令和元年度に策定した「精華町まちづくり基本計画・実施計画」に基づき、中学校給食の実施に向けた精華町防災食育センター新築工事の実施設計業務を実施した。
 ○令和元年度に策定した「精華町学校施設長寿命化計画」に基づき、令和2年度より8年間掛けて各小中学校の便所洋式化を進めるため、令和2年度は、精北小学校及び山田荘小学校の普通教室棟便所の改修工事实施設計業務を実施した。
 ○国のGIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台の情報端末の整備及び校内通信ネットワーク環境を整備した。

5. <施策の今後の方向性>

○「まちづくり基本計画・実施計画」に基づき作成した精華町防災食育センター新築工事設計図書を基に、工事発注を進めセンター建設に取り組むとともに、センター運用に係る財源確保に努める。○学校の防災機能強化など、事業の優先順位と財源確保に努め、計画的に環境整備を進める。○令和3年度より、精北小学校と山田荘小学校の普通教室棟より便所洋式化工事を進め、令和8年度までにすべての小中学校の洋式化を進める。○出退勤記録システムや夜間の電話自動応答システムなどの導入整備により、教職員の働き方改革を推進するための環境整備が整いつつある。今後は意識改革などソフト面での対策を進めていく必要がある。○国のGIGAスクール構想に基づき、児童生徒1人1台整備した情報端末の活用を進める。

1. <施策の概要>

基本構想	未来をひらく文化と環境のまちづくり	統括課	教育部・生涯学習課
基本計画	生涯学習		
施策	歴史	関連課	
方針・目標等	◆住民の町の歴史などに対する興味の上昇 ◆多くの住民が歴史や史跡や寺社仏閣など文化財に親しみをもちつ		
実施内容	◆資料の収集や調査・研究・保存 ◆歴史民俗資料などの活用に向けた取り組み ◆文化財や史跡などに接する機会提供		

2. <指標の設定>

	重点	指標	単位	他団体比較 団体名/実績/年度			算式・引用等		
①	○	歴史・文化財に関する講演会参加者数	名				寿大学・文化財愛護会・文化講座調べ		
②		文化財展示会への参加者数	名				生涯学習課調べ		
③		デジタルミュージアムwebサイト年間アクセス件数	件				アクセス件数		
④									
⑤									
				H29(実績)	H30(実績)	R 1(実績)	R 2(実績)	R 3(試算)	R 4(試算)
①	目標	230	230	400	400	200	200		
	実績	211	431	316	131				
②	目標	500	500	300	300	300	300		
	実績	442	261	0	0				
③	目標	18,000	7,000	10,000	20,000	38,000	38,000		
	実績	4,870	17,173	22,188	37,085				
④	目標								
	実績								
⑤	目標								
	実績								

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

講演会参加者数については、むくのき文化講座、寿大学での歴史・文化財に関する講演・講座の合計参加者数で、毎回一定の参加が見込まれる。デジタルミュージアムでは、新たな展示(コンテンツ)を追加すると共に、引き続き、小中学校へミュージアムサイトの案内をしていることから授業などで活用されており、また、京都府ミュージアムフォーラムへ加盟していることから、アクセス数の増加に繋がっていると考えられる。

歴史・文化財に高い関心を持つ住民が一定数存在すると推察できることを踏まえ、広く住民の方に町の歴史や文化財に興味を持っていただけるよう、講演会等では様々な内容(テーマ)を検討し、デジタルミュージアムの展示(コンテンツ)を増やすなど、文化財や町の歴史を身近に接する機会となるよう工夫していく必要がある。

文化財展示会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度は開催せず。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

歴史に関する講演会について、高齢者の参加が多く若年層の参加が少ない。

文化財展示会については、展示期間の延長や露出展示を行うことが困難な埋蔵文化財の展示を望む声がある中、展示会場である交流ホールの利用状況に左右されることなく遮蔽展示が可能な、常設展示会場の必要性が高まっている。

4-1. <施策を構成する主な事業>

	重点	部 門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
			H29(実績)	H30(実績)	R 1(実績)	R 2(実績)	R 3(予算)	R 4(試算)
1	○	教育部・生涯学習課	9,164	10,202	9,569	10,313	11,272	10,823
		文化財保護事業	5,853	6,336	6,390	7,381	7,891	7,891
		一般事業 241	5,853	6,336	6,390	7,381	7,891	7,891
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

○指定文化財や、古文書・歴史資料、民俗文化財、埋蔵文化財などについて、保存のための必要な措置を講じ、調査・研究を進めることができた。
 ○資料のデジタルミュージアム化において、webページに公開予定の素材を順次整理することができた。今年度においては『精華町の紡織及び養蚕関連用具』をデジタル化し、公開した。
 ○精華町指定文化財の新規指定を目的とした事前調査を行った。
 ○歴史資料、民俗文化財(民具等)等の保護・保存件数は増加しており、文化財等の長期保管に適した保管場所が必要不可欠である。

5. <施策の今後の方向性>

○文化財は住民の文化振興を支える貴重な資財として、資料の整理、調査・研究を進め、確実な保護と保存、および活用を行っていく必要がある。
 ○広く興味や関心を引くことができるような内容の、歴史講座や講演会を検討する。
 ○デジタルミュージアムについては、魅力的な展示(コンテンツ)づくりに努める。
 ○文化財保護審議会を開催し、精華町指定文化財の指定等について様々な意見を頂く。

1. <施策の概要>

基本構想	未来をひらく文化と環境のまちづくり	統括課	教育部・生涯学習課
基本計画	生涯学習		
施策	文化活動	関連課	
方針・目標等	◆活発な文化活動を行える文化振興施策の展開 ◆文化活動が盛んに行われている		
実施内容	◆精華町文化協会との連携 ◆文化芸術活動による各種公共施設の活用 ◆青少年健全育成の推進 ◆生涯学習機会の拡充		

2. <指標の設定>

①	重点	指標	単位	他団体比較			算式・引用等
				団体名	実績	年度	
①	○	精華町子ども祭り参加者数	名				生涯学習課調べ
②		精華まなび体験教室参加者数	名				生涯学習課調べ
③	○	文化協会加盟サークル数	団体				文化協会調べ
④		文化フェスティバル参加者数	名				文化協会調べ
⑤							
		H29(実績)	H30(実績)	R 1(実績)	R 2(実績)	R 3(試算)	R 4(試算)
①	目標	2,500	2,500	4,000	0	500	500
	実績	1,300	4,000	4,000	0		
②	目標	2,500	2,700	2,700	1,350	600	600
	実績	2,672	2,303	2,009	0		
③	目標	40	40	40	40	40	40
	実績	37	37	37	38		
④	目標	-	500	500	500	250	250
	実績	-	474	497	0		
⑤	目標						
	実績						

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

○「精華町子ども祭り」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止した。
 ○「精華まなび体験教室」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により町内全5小学校での実施ができなかった。
 ○文化振興の担い手である文化協会の加盟サークル数は減少することなく、高齢化等の課題はあるが一定水準を保っている。
 ○精華町文化協会主催の「せいか文化フェスティバル」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できなかったが、感染防止対策を十分に行い「展示会」(9月、11月)を実施するとともに、「文化協会だより」を発行した。各種発表会や展示会は、文化協会加盟サークルの発表の機会であり、また、文化の普及啓発という役割を担っており、文化活動の裾野の拡大につながっている。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

○文化協会の活動による成果を社会に還元していくためにも、会員の増員を支援していく必要がある。
 ○生涯学習事業については、様々なことを行っており、さらに女性の社会活躍や高齢者の生きがいづくりなど、課題にこたえるような内容を充実させていく必要がある。
 ○「精華まなび体験教室」「地域学校協働本部事業」は、活動のより一層の充実のため、それを支えるボランティア等の確保が必要である。

4-1. <施策を構成する主な事業>

重点	部 門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
		H29(実績)	H30(実績)	R 1(実績)	R 2(実績)	R 3(予算)	R 4(試算)
1	教育部・生涯学習課	6,364	6,058	6,188	12,651	12,268	15,095
	社会教育一般事務経費	3,563	3,285	3,426	6,384	8,887	8,827
	一般事業 233	3,510	3,239	3,372	6,351	8,827	8,827
2	教育部・生涯学習課	3,146	3,095	3,246	4,132	4,171	4,539
	社会教育委員会運営費	259	238	401	222	629	629
	一般事業 233	259	238	401	222	629	629
3	教育部・生涯学習課	5,779	5,843	5,728	4,058	4,037	4,646
	生涯学習支援事業	512	631	543	148	736	736
	一般事業 235	351	489	450	142	586	736
4	教育部・生涯学習課	4,762	4,656	4,518	5,281	4,654	5,263
	成人式	1,450	1,379	1,255	1,371	1,353	1,353
	一般事業 235	1,450	1,379	1,255	1,371	1,353	1,353
5	教育部・生涯学習課	10,506	10,390	10,695	9,793	10,845	11,454
	青少年健全育成事業	6,939	6,704	6,659	5,883	7,544	7,544
	一般事業 235	6,819	6,588	6,543	5,851	7,394	7,544
6 ○	教育部・生涯学習課	3,987	4,533	4,958	4,007	4,201	4,810
	精華まなび体験教室事業	846	809	791	97	900	900
	一般事業 235	309	330	326	97	340	900
7 ○	教育部・生涯学習課	6,537	6,711	6,708	4,617	5,976	5,779
	文化振興事業	1,696	1,842	1,679	707	1,869	1,869
	一般事業 237	1,696	1,842	1,679	707	1,869	1,869
8	教育部・生涯学習課	3,975	4,435	4,748	5,960	6,340	5,052
	地域学校協働本部事業	2,534	2,775	2,540	2,050	3,039	3,099
	一般事業 237	847	977	945	684	1,073	1,033
9							
10							

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

○新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら、各年齢層を対象とした各種講座や教室を開催し、生涯学習の多様な機会を提供することができた。
 ○「精華町子ども祭り」は、せいか祭りとともに開催を中止としたが、今後3密を避ける実施形態での開催を実行委員会構成団体と検討する必要がある。
 ○「精華まなび体験教室」では、新型コロナウイルス感染防止対策に最大限配慮した上で、放課後及び土曜日における安全・安心な居場所づくりを進める必要がある。
 ○後援活動や「精華町文化・スポーツ振興奨励金」の交付、精華町民文化賞の授与により、それぞれの活動に対する支援や激励をすることができた。

5. <施策の今後の方向性>

○文化の振興を図るため、精華町文化協会の活動について、より住民主体の運営に向けた支援を検討する。
 ○精華町文化協会主催の「せいか文化フェスティバル」等の各種発表会や展示会などの諸事業の充実を支援するとともに、文化協会の活動による成果を社会に還元していくためにも、会員の増員を支援していく。
 ○新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら、社会教育関係講座の充実を図る。
 ○「精華まなび体験教室」では、「精華町第2期放課後子ども総合プランに係る行動計画」に基づき、新型コロナウイルス感染防止対策に最大限配慮し、町内全5小学校で、引き続き活動の充実を目指す。

1. <施策の概要>

基本構想	未来をひらく文化と環境のまちづくり	統括課	教育部・生涯学習課
基本計画	生涯学習		
施策	スポーツ活動	関連課	
方針・目標等	◆活発なスポーツ活動を行えるスポーツ振興の展開 ◆健康保持・増進・生きがいのため充実したスポーツライフを送る		
実施内容	◆NPO法人精華町体育協会との連携 ◆スポーツ施設の計画的な整備		

2. <指標の設定>

①	重点	指標	単位	他団体比較			算式・引用等
				団体名	実績	年度	
①	○	スポーツ施設利用者数	名				生涯学習課調べ
②	○	スポーツクラブ会員数	名				生涯学習課調べ
③		スポーツ事業等参加者数	名				生涯学習課調べ
④							
⑤							
		H29(実績)	H30(実績)	R 1(実績)	R 2(実績)	R 3(試算)	R 4(試算)
①	目標	185,000	190,000	190,000	95,000	190,000	190,000
	実績	191,544	184,527	179,899	128,653		
②	目標	2,900	2,900	2,900	2,700	2,700	2,700
	実績	2,770	2,678	2,482	2,535		
③	目標	18,600	18,600	16,000	4,000	6,000	6,000
	実績	11,582	6,951	7,092	4,622		
④	目標						
	実績						
⑤	目標						
	実績						

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

<p>○スポーツ施設利用者数について減少した。コロナ禍の影響により、施設により異なるが約1カ月半から3カ月間の休館・利用停止期間に加え、約2カ月間の時短期間があった影響が考えられる。施設により周辺自治体施設の閉鎖に伴って、町外からの利用者が増えたケースもあった。</p> <p>○スポーツクラブ会員数は昨年度に比べ少し増加したが、年々減少傾向にある。なお、クラブ数は110クラブ前後で推移しているが令和2年度末では108クラブとなった。</p> <p>○スポーツ事業参加者数について、コロナ禍の影響により中止となった事業もあり、参加者数が減る結果となった。</p>
--

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

<p>○スポーツ推進委員に加え、スポーツ振興の核となる高い資質を持った指導者の育成が課題である。</p> <p>○体育施設の経年劣化により、修繕や更新を要するものが散見されるため、計画的な対応が必要である。</p> <p>○住民が身近にスポーツに親しむことができるよう、各種関係団体と連携を図り取り組みを進める必要がある。</p>

4-1. <施策を構成する主な事業>

重点	部 門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
		H29(実績)	H30(実績)	R 1(実績)	R 2(実績)	R 3(予算)	R 4(試算)
1	教育部・生涯学習課	4,676	2,543	4,192	3,754	3,775	3,150
	スポーツ推進委員会運営事業	770	780	796	577	877	866
	一般事業 243	770	780	796	577	877	866
2	教育部・生涯学習課	9,192	8,703	8,462	9,243	9,726	10,448
	生涯スポーツ振興事業	6,476	6,476	6,487	6,066	6,828	6,676
	一般事業 243	6,476	6,476	6,487	6,066	6,828	6,676
3	教育部・生涯学習課	3,667	6,108	3,262	3,774	4,558	3,338
	学校開放維持管理事業	1,376	1,236	1,287	597	1,660	1,550
	一般事業 243	345	160	337	197	660	440
4	教育部・生涯学習課	56,302	78,981	52,923	51,346	72,634	53,744
	体育施設等運営事業	49,679	77,064	50,028	48,169	69,736	48,236
	一般事業 243	49,677	59,483	49,980	48,121	48,181	48,181
5							
6							
7							
8							
9							
10							

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

○むくのきセンター及び体育施設の運営について、指定管理者制度により住民の利用にあたっての利便性の向上や指定管理者が各種スポーツ事業等を中心に展開し、スポーツの振興と文化の発展及び向上に寄与することができた。 ○体育施設に配置する設備及び備品には、経年劣化による修繕や更新を要するものが散見される。 ○NPO 法人精華町体育協会に対する助成金を交付し、スポーツ振興事業をすすめたがコロナ禍の影響で、精華マラソンやせいか健康・スポーツ交流フェスティバルなどのイベントが中止となった。 ○登録団体の利便性を向上させ、各スポーツ施設の効率的な運用のため、日程調整会議を前・後期の年2回開催し、利用促進を図った。

5. <施策の今後の方向性>

○老朽化が著しい体育施設については、現状の利用頻度や指定管理者による今後の事業計画等を踏まえ、施設設置者の責務として、計画的な修繕等の対応を検討し、安定的な運営環境の確保に努める。 ○住民ニーズの把握に努め、スポーツ推進委員や関係団体のほか、指定管理者との連携による地域に根差した取り組みの実現を目指す。 ○スポーツ事業等の継続的な情報提供の展開のほか、NPO法人精華町体育協会等関係団体との連携により、健康増進と身近にスポーツに親しめる環境づくりを進めるほか、せいか健康・スポーツ交流フェスティバルについて、多くの方に参加いただけるよう開催方法について検討する。 ○コロナ禍が続く中で、必要な措置を取り、一定の安全性を図りながら、各種スポーツ事業等の実施できるよう検討していく。

1. <施策の概要>

基本構想	未来をひらく文化と環境のまちづくり	統括課	教育部・生涯学習課
基本計画	情報化		
施策	図書館	関連課	
方針・目標等	◆住民ニーズを踏まえた図書館資料・サービスの充実 ◆子どもの読書活動の推進 ◆住民の多くが図書館を利用		
実施内容	◆学校や関係団体との連携による子ども読書活動 ◆郷土資料のデジタル化 ◆図書館施設の維持管理		

2. <指標の設定>

①	重点	指標	単位	他団体比較		算式・引用等	
				団体名	実績/年度		
①	○	住民一名あたり図書館資料貸出点数	点	全国平均 5.23	30	図書館年鑑2020	
②	○	蔵書回転率	-	全国平均 1.47	30	図書館年鑑2020	
③		貸出点数	点	同一人口規模自治体平均 246,000	30	図書館年鑑2020	
④		予約・リクエスト受付件数	件	同一人口規模自治体平均 11,829	30	図書館年鑑2020	
⑤		蔵書数	点	同規模人口自治体平均 164,000	30	図書館年鑑2020	
		H29(実績)	H30(実績)	R 1(実績)	R 2(実績)	R 3(試算)	R 4(試算)
①	目標	12.4	12.4	12.4	8.9	11.0	11.0
	実績	10.7	10.5	10.2	9.1		
②	目標	2.75	2.75	2.75	1.57	2.00	2.00
	実績	2.05	1.97	1.85	1.62		
③	目標	456,000	456,000	400,000	333,000	400,000	400,000
	実績	399,042	391,325	379,351	336,961		
④	目標	24,500	24,500	24,500	20,400	24,500	24,500
	実績	23,267	24,386	19,506	20,860		
⑤	目標	195,000	200,000	200,000	210,000	213,000	218,000
	実績	195,087	198,196	204,862	208,362		

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

○日本図書館協会が全国公共図書館の動向をつかむため、毎年集計している基本データの中で、「住民一人あたり図書館資料貸出点数」「蔵書回転率」「貸出点数」「予約・リクエスト受付件数」が、前年度と比較し減少している。ただし、開館日数は267日で前年度比3日増であるが、コロナウイルス感染拡大防止のため、予約資料の貸出のみを行う期間19日を含んでおり、全体として利用はやや減となっている。これらの実績は、全国の同一人口規模自治体の活動実績と比較した場合、上位水準に位置している。また、資料費が同一人口規模自治体の平均程度であることを踏まえると費用対効果が高い。

○貸出推進事業として旬のテーマをとらえ効果的に資料展示に取り組んだこと、読書手帳などの読書推進事業に取り組んだことなどが、利用促進につながったと考えられる。引き続き資料利用の実態把握・分析や資料要求の把握に努めさらなるサービスの向上を図り、その基礎となる職員の専門性の向上に努める必要がある。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

○図書館は、生涯学習の拠点として、資料や情報、場を提供することによって、住民が自ら学び、考え、行動できるよう、サポートする必要がある。また、子どもの読書環境の整備を進めるため、学校、地域、家庭と連携していく必要がある。

○町民の一番身近にある図書館として、来館者から日々寄せられるニーズに丁寧に応え、公立図書館の役割をしっかりと担えるサービスを展開する必要がある。さらには、本町と共通する課題に先進的に取り組んでいる自治体の優れた事例も参考にして業務に活かしていくことが必要である。

4-1. <施策を構成する主な事業>

重点	部門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
		H29(実績)	H30(実績)	R 1(実績)	R 2(実績)	R 3(予算)	R 4(試算)
1	○ 教育部・生涯学習課	45,620	51,814	47,503	41,050	41,879	41,097
	図書館運営費	31,429	37,768	33,543	35,590	36,564	35,506
	一般事業 237	31,429	37,768	33,543	35,590	36,564	35,506
2	教育部・生涯学習課	9,137	12,527	15,515	17,925	21,238	18,979
	図書館維持管理事業	7,200	9,418	12,419	12,465	15,923	13,388
	一般事業 239	7,200	9,418	12,419	12,170	13,123	13,088
3	教育部・生涯学習課	6,782	8,026	8,038	6,391	9,165	9,441
	移動図書館車運行事業	3,641	3,655	3,689	3,722	3,850	3,850
	一般事業 239	3,641	3,655	3,689	3,722	3,850	3,850
4	○ 教育部・生涯学習課	16,253	14,298	15,745	16,718	16,310	16,591
	図書等購入事業	11,837	10,161	11,563	11,258	10,995	11,000
	一般事業 239	4,625	3,723	11,563	4,168	3,995	4,000
5	教育部・生涯学習課	4,357	3,258	2,330	5,507	5,572	5,808
	読書推進事業	177	149	70	47	257	217
	一般事業 241	177	149	70	47	257	217
6							
7							
8							
9							
10							

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

○住民の利便性の向上を図り、安定したサービス提供に努めた。 ○インターネット上のサービス機能向上や読書手帳の発行など、利便性の向上に努めた。 ○子どもに係る機関との情報共有、団体貸出の推進など、子どもの読書環境の整備に取り組んだ。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながらも読書推進活動に取り組んだ。 ○所蔵資料や図書館ネットワークを活用し、レファレンスやリクエストなど多様な資料・情報要求に対応した。 ○視覚障害者情報総合ネットワーク(サビエ)への加入による録音図書(デージー)の貸出を行い、障害者サービスの充実に努めた。 ○門脇文庫の資料展示を変更し、情報発信に取り組み、当館の認知度向上と利用促進につなげた。 ○今後さらに資料整備を進め、様々な層を対象に行事や展示を企画し、当館の魅力を発信していく必要がある。

5. <施策の今後の方向性>

○各分野の基本図書、参考図書や郷土資料などをさらに充実させ、「住民が主体のまちづくり」に応えられる図書館サービスを目指す。 ○令和3年度に行う移動図書館車の更新にも合わせて、移動図書館の今後のあり方や方向性の研究を進めていく。 ○住民の多様なリクエストに応えられるよう、蔵書構成の点検や資料補強を定期的に行う。 ○郷土資料を中心にデジタル化を進め、資料情報の保存と発信に努める。 ○図書館を利用したことがない町民も含め、町民の幅広い層を対象とした行事や展示について、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら開催し、図書館の魅力を普及啓発するとともに、障害者サービスのさらなる充実も図っていく。 ○門脇文庫の整理を進め、魅力ある蔵書構成をめざす。

IV 全体評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育行政事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行うこととされています。本町では、精華町第5次総合計画の施策体系から以下の6つの柱に沿って評価を行いました。

1. 「教育振興」として、以下の3つの方針・目標を立て、取り組む。

- ①子どもたちに魅力ある学校教育の推進
- ②地域と一体的な子どもたちを守り育てる教育
- ③豊かな人間性の育成

学力向上総合推進委員会での学力診断テスト等の結果分析などにより、個に応じた指導を展開してきているが、令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響により4、5月を臨時休業としたため、学力テストが実施できなかったことから、臨時休業期間中は個別学習プリントを配布した復習を中心として基礎学力の定着を図るとともに、夏季及び冬季休業期間を短縮して必要な授業時数を確保した。

学校・地域との連携協働によるコミュニティ・スクールや地域学校協働本部事業の取組、学校への教育支援員等の配置によるノーマライゼーションの推進などにより、教育効果を高めることができた。

いじめ防止対策関係では、平成26年に精華町と教育委員会が「いじめ防止基本方針」を策定、平成30年に方針改定を行う中で、小中学校へのスクールカウンセラー配置やいじめ防止に関連する教育委員会の附属機関を設置した。また、いじめの未然防止や早期発見に向けて、学校教育全体を通じて児童生徒が主体的にいじめについて学び考える取組を進めるとともに、全教職員が共通理解を持って組織的な対応を行っている。これらの対策や学校のきめ細やかな取組により、令和2年度については上記の臨時休業等で児童生徒同士の接触機会が大きく減少した期間があるため単純な比較を行うことはできないが、問題事象の発生件数は前年度に引き続き低い水準で推移していると言える。

論理的思考や創造性、問題解決力などを身に付けるためのプログラミング教育の導入、外国語教育の充実など、新たな教育内容が盛り込まれた新学習指導要領の円滑な実施に向けて、指導内容面での充実やそのための教育環境の整備が求められている。

また、新型コロナウイルスによる授業への影響に備え、国のGIGAスクール構想を前倒しで実施し、児童生徒1人1台の情報端末や大型モニターなどを整備した。今後は情報教育アドバイザーの支援などにより教員のICT機器の操作能力を高め、児童生徒への教育活動での積極的な活用を進める。

引き続き、新学習指導要領の円滑な実施とそれに定める内容を軸としなが

ら、施策目標や教育大綱に定めた5つの方針を達成するため、物的・人的環境の支援を継続的に進め、更なる成果の向上を目指していく。

2. 「教育環境」として、以下の5つの方針・目標を立て、取り組む。

- ①子どもたちが安全で安心できる学校生活
- ②快適で安心して学べる教育環境の整備
- ③食育の推進
- ④子どもたちの安全確保
- ⑤安心できる良好な教育環境

教育環境の面においては、児童生徒が安全で安心して学校生活を送ることができること、また快適に学ぶことができる教育環境を整備することを優先的課題として取り組んできた。その成果として、平成27年度にはすべての学校施設の耐震化が完了し、平成29年度には中学校、平成30年度には小学校への空調設備の整備が完了したことにより、これらの目標を達成することができた。

現在の教育環境整備における最大の課題は、中学校給食の早期実施であり、その実現に向けて、平成30年度に策定した「精華町まちづくり基本構想」及び令和元年度に策定した「精華町まちづくり基本計画・実施計画」に基づき、災害時には被災者への食糧供給機能、平常時には中学校給食センターとして機能する「防災食育センター」の実施設計を行った。次年度以降については、設計図書を基に工事発注を進めるとともに、給食調理や配送といった業務の民間委託について検討を進める必要がある。

また、学校施設の中長期的な維持管理に係るコストの平準化や縮減を図りつつ、学校施設の長寿命化や機能・性能の向上を図るため、令和元年度に策定した学校施設長寿命化計画に基づき、令和2年度は2小学校の普通教室棟便所の改修工事实施設計業務を実施した。今後については、当該計画に基づき、令和8年度までにすべての小中学校で便所洋式化を完了させるため財源の確保に努め、計画的に取り組んでいく必要がある。

教職員の働き方改革については、全国的な課題となっており、本町においても、この間、留守番電話機能の追加、出退勤時刻記録システムや校務支援システムの導入など、働き方改革のための環境整備を行ってきた。これらのツールを活用しながら、業務の見直しや意識改革など、ソフト面での対策を進めていく必要がある。

3. 「歴史」として、以下の2つの方針・目標を立て、取り組む。

- ①住民の町の歴史などに対する興味の向上
 - ②多くの住民が歴史や史跡、寺社仏閣など文化財に親しみを持つ
- 指定文化財や古文書・歴史資料、民俗文化財、埋蔵文化財などの文化財に

ついて、保存のための必要な措置を講じた。精華町地域創生戦略に基づき、インターネット上に構築した歴史民俗博物館デジタルミュージアムを運営し、書籍や資料のデジタル化に取り組み、令和2年度は精華町の紡織及び養蚕関連用具（民具）1点1点をデジタル化し、公開した。文化財の保護については、住民の財産として、資料の整理、調査・研究を進め、確実な保存と活用が行えるよう努める。

文化財愛護会の活動を助成し、連携して公開講演会や各種イベントを実施することで、住民が地域に残された文化財やその歴史にふれる機会を確保するよう、事業展開を進めていく。

4. 「文化活動」として、以下の2つの方針・目標を立て、取り組む。

①活発な文化活動を行える文化振興施策の展開

②文化活動が盛んに行われている

活発な文化活動ができるよう、生涯学習課団体登録制度に基づく各種サークルの紹介を行うとともに、登録サークルが公共施設の優先予約を受けることにより、利便性の向上を図った。

文化振興の母体である文化協会に加盟している各サークルの会員は、高齢化等により減少傾向にあるものの、新たに加盟するサークルもある。新型コロナウイルス感染症拡大により文化協会主催の「せいか文化フェスティバル」は実施できなかったが、「展示会」の実施や「文化協会だより」を発行することができた。今後も、文化協会が自立した活動が行えるよう支援するとともに、引き続き、加盟団体の増加を図るための事業展開を進めていく。

新型コロナウイルス感染症拡大により、精華町子ども祭りや精華まなび体験教室は実施できなかった。各年齢層を対象とした各種講座や教室は、新型コロナウイルス感染防止対策をとり、例年から規模を縮小することとなったが開催することができ、生涯学習の多様な機会を提供することができた。

成人式では、令和2年度においても新成人による実行委員会を結成し、新成人自らが作る成人式を開催することができた。

5. 「スポーツ活動」として、以下の2つの方針・目標を立て、取り組む。

①活発なスポーツ活動を行えるスポーツ振興の展開

②健康保持・増進、生きがいのため充実したスポーツライフを送る

各種スポーツ教室やNPO法人精華町スポーツ協会（旧NPO法人精華町体育協会）との協働により、スポーツ事業を展開しているが、多くの事業を新型コロナウイルス感染症拡大により中止せざるを得なかった。

NPO法人精華町スポーツ協会によるむくのきセンターをはじめとした社会体育施設等の指定管理状況について、指定管理業務に対する外部評価機関である、精華町教育委員会所管施設指定管理者評価委員会を開催し、令和元年

度（昨年度）の状況について、概ね良好な評価を得ることができた。

しかし、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、令和2年4月13日から5月31日までの49日間にわたる閉館、令和3年1月18日から3月21日までの63日間は利用時間短縮を行った。

また、町民体育大会に代わるイベントとして、令和2年度からむくのきセンターを会場にNPO法人精華町スポーツ協会との共催で、せいか健康・スポーツ交流フェスティバルを開催しており、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により中止となったが、健康イベントとの連携なども含めて、より参加しやすいイベントとなるよう検討していく。

今後も町民の健康増進を図るため、住民ニーズの把握に努め、スポーツ推進委員会とNPO法人精華町スポーツ協会との協働により、健康で生き生きとしたスポーツライフの実現と精華町スポーツ協会傘下の競技団体による競技スポーツの拡大による底上げを図り、より地域に根差した生涯スポーツ振興の取組を進めていく。また、指定管理者による施設の良好な管理運営を図り、住民サービスの更なる向上の推進ができるよう取組を進める。

6. 「図書館」として、以下の3つの方針・目標を立て、取り組む。

- ①住民ニーズを踏まえた図書館資料・サービスの充実
- ②子どもの読書活動の推進
- ③住民の多くが図書館を利用

住民の生涯学習を支える資料情報拠点として、新鮮で魅力ある蔵書構成となるよう、各種資料を積極的に収集し、安定したサービスの提供に努めた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため予約資料の貸出のみを行う期間もあったが、貸出冊数や来館者数は同規模自治体の中では、高水準を維持することができている。また、所蔵資料や図書館ネットワークを活用し、レファレンスやリクエストなど、住民の多様な情報・資料要求に対応することができた。

令和2年度には「子どもの読書環境整備5か年計画（第4次）」に基づき、学校等への団体貸出に引き続き取り組むとともに、（子ども向け）おすすめ本パンフレットの配布など、子どもの読書環境づくりに積極的に取り組んだ。

町広報誌「華創」で紹介したテーマ本や時勢・行事にあわせた企画、役場関係課との連携による行政課題に関わる資料の展示を行うほか、障害者等を対象とした配送貸出による貸出を行い、さまざまな角度から資料に親しんでもらえる機会を増やすことができた。

雑誌と本のリユース・デーや文学講座、親子手作り教室を実施し、積極的に資料利用の促進に取り組んだ。また、町史編纂に携われた故門脇禎二氏から寄贈された貴重な資料により構成した門脇文庫は、引き続き整理を進め、魅力ある蔵書構成を目指す。

今後も住民の生涯学習・文化活動を支える拠点としての役割を果たすため、暮らしに役立つ図書館を目指し、各種サービスの充実に努める。

7. その他

令和2年4月に開催を予定していた教育委員会定例会及び第1回総合教育会議について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による京都府への緊急事態宣言の発令を受けて対面による開催を中止し、やむをえず書面による表決を実施するという異例の事態となった。

今後、このような事態が生じた場合においても可能な限り教育委員会の機能を維持できるよう、必要な環境整備に努める。

V 第三者評価

1. 施策評価

施策名	評価及び意見
<p>教育の振興と充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国規模で4月から5月にかけて学校が臨時休校となり、全国学力学習状況調査、京都府学力診断テストが実施されなかったため、テスト結果からの評価を行うことはできず、学校教育とりわけ学力面に対する危惧が全国的に広がっていた。そのような状況の中、本町では小・中学生に対して個別に学習プリントを配布し基礎学力の定着を図る取組が実施されたり、また、学校再開後には夏季・冬季休業期間を短縮し授業時間数を確保するなど、困難な中であっても児童生徒の学力面に対して手厚いフォローが行われていたことは大いに評価できる。 ● 学力診断テストにおける結果にかかわらず、知的活動や対話的活動の基盤となる「言語力」を高める言語活動を充実させ、「思考力・判断力・表現力」の向上を一層図ることが求められる。 ● 学習指導要領が改訂され、こうしたコロナ禍対応の中にあっても、小学校は令和2年度より、中学校は令和3年度より新学習指導要領のもと新たな教育活動・指導が進められている。各学校においては、新学習指導要領実施上の要である「主体的・対話的で深い学び」の実現をしっかりと認識した上で、校内研修を効果的に行い、PDCAサイクルに基づくカリキュラムマネジメントのもと、社会に開かれた教育課程を編成し、積極的に外部人材の活用や大学との連携等、充実した教育活動が展開されることに期待する。 ● 新学習指導要領のもと、令和2年度より小学校においてプログラミング教育が必修化された。具体的には、情報活用能力が言語能力と同様に「学習の基盤となる資質能力」と位置づけられるとともに、小学校段階から文字入力など基本的な操作を習得し、プログラミング的思考を育成することとされている。算数や理科などの教科におけるプログラミング学習をベースとしたICTの活用を通して、全ての教科における学びを、より確実なものにしてもらいたい。 ● 今、子どもたちの読書離れ・読書量の減少が、大きな課題となっている。本町では、「子どもの読書環境整備5カ年計画（第4次）」により学校図書館と連携した読書活動の積み重ねが、精華町の児童生徒の不読者防止に効果を上げており、学校図書館の活用を進めるための工夫

として、選書会などの子どもが主体的に読書に関わる取組が行われていることは大いに評価でき、取組を一層充実・継続していくことが求められる。

- 問題事象の発生件数は、小・中学校ともに大幅に減少している。コロナ禍の影響もあったかと推察されるが、それ以上に、先生方のご尽力の賜物だと敬意を表する思いである。今後とも、子どもを中心とした教育活動の充実、子どもの力を最大限に伸ばす生徒指導を心がけてもらいたい。
- 不登校児童・生徒が増加していることは気掛かりである。コロナ禍の影響は否定できないが、不登校に至る経緯や要因は様々で複合的であり、子ども達が社会性やコミュニケーション能力を高める場としての学校の在り方を再認識した上で、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家との連携を一層強めるなど、引き続き学校と家庭が連携し、要因の背景を分析しながら組織的に対応することが必要であり、よりきめ細やかで丁寧な指導を心がけてもらいたい。
- いじめの問題は、近年SNSの発達により、これまで以上に見えにくく、また、陰湿化の傾向にある。本町では、小・中学校ともにいじめの認知件数は減少している。新型コロナウイルスの感染予防のため児童生徒同士の接触機会が減ったこともあるが、全教職員の共通理解による組織的対応など各校のきめ細やかな取組が功を奏していると考えられる。いじめの認知件数の多寡も大切な指標だが、それ以上に、いじめの解消率が小・中学校ともに高くなっていること、また、重大事象が1件もなかったことに対して大いに評価したい。今後も、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に向け、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの適切な配置を行い、チーム学校を支援していくことを期待する。
- 地域全体で子供たちの学びや成長を支えるコミュニティ・スクールや地域学校協働本部事業など、学校・地域との連携協働の取組が充実向上し継続されていることに敬意を表したい。さらに多くの住民の参加を呼びかけ、地域で子どもを育てる精華町の教育の進展に期待する。
- 子どもの人口減少に対して、障害のある子どもは増加傾向にある中で、適切な教育支援員等の配置は、障害のある子どもにとってもチーム学校運営においても非常に大きな力となっており、高く評価できる。今後も継続・充実し、ノーマライゼーションを推進し、教育効果を高めていくことを期待する。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童生徒1人1台の情報端末や大型モニターの整備、校内通信ネットワーク環境の整備などを一体的に整備することを主たる内容とするGIGAスクール構想が、コロナ禍による授業の影響に備え、本町では前倒しで進められ、令和2年度末には町内全ての小・中学校に対して整備を実施されていることに敬意を表す。個別最適化や創造性を育む学びの実現に対し大いに期待される。 ● 今後は、一斉授業やグループ学習、個別学習等における効果的なICTの活用、また、持ち帰り学習やリモート授業などへの対応に向けて、教員のICT機器の操作能力向上や教育活動での積極的活用が課題となるが、情報教育アドバイザーの支援を充実させ、多様な研修、先進的な実践の共有を図り、これまでの実践とICTとのベストミックスで学校教育を充実させることが必要である。 ● 教育効果を高めるために、今後は教育ソフトの充実が求められる。デジタル教科書の活用は、主体的・対話的で深い学びの実現を促し、個別最適化に寄与するものと考えられ、各学校への導入配置を願いたい。 ● 施策目標や教育大綱の5つの方針の基に、継続して物的・人的支援を充実し、質の高い精華町の教育の実現を期待したい。
<p>教育環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 異常気象による災害や南海トラフ大地震が想定される現在、普通教室の空調設備設置や耐震化工事が完了していることは高く評価できる。子ども達の学習効果を高めるためには、学習環境の充実が不可欠である。子ども達への教育環境の充実に向けた取組に対して、本町教育委員会の手厚く積極的な姿勢に敬意を表す思いである。また指定避難所であることから、備蓄倉庫はもちろん、自家発電設備、太陽光発電設備などの充実を図ることが重要である。引き続き防災機能を強化し、学校の安全安心な設備の徹底を求める。 ● 近年、中学校給食の実現に向けて、府内の多くの地域で希望する声が上がっている。本町では、教育環境整備における最大の課題と位置づけて、「精華町まちづくり基本構想」に基づき防災食育センターの建設が始まろうとしており、令和5年度から中学校給食が開始される予定と聞いている。保護者や子ども達も、待ち遠しく思っていると推察される。1日も早い実施を期待する。また、給食業務の実施にあたっては「安全安心」「食育」「地産地消」「食品ロス削減」等の観点を重視した取組をお願いしたい。 ● 近年交通事故や不審者による犯罪等、子ども達が被害者となる事件・

	<p>事故が後を絶たない。本町においても、子ども達の重災害事故として、小学校で4件、中学校で2件起きている。その内3件が自転車における事故である。子ども達が、いたましい事件や事故に巻き込まれないためにも、交通安全や防犯意識を高める指導を一層充実する必要がある。今後とも、警察等関係諸機関と連携し、交通安全教室や危険から身を守る訓練等、計画的・継続的に実施してもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活様式の変化に伴う各学校のトイレの洋式化は必須であるが、障害のある児童生徒の増加や支援の必要な児童生徒の増加を鑑み、達成年度（令和8年度）を待たずスピード感をもって改修工事に取り組むことを望みたい。 ● 留守番電話機能の追加や出退勤時刻記録システム、校務支援システムの導入など環境整備を進められたことは、教員の働き方改革を進めるものとして評価できる。今後は、業務の削減や見直し、人材支援、意識改革など柔軟で実効性のある取組を進め、教育の質を高める働き方改革になることを期待する。
<p>歴史（文化財保護と活用）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「歴史民俗博物館デジタルミュージアム」を運営していることは現代的なニーズに即した成果であり、その活用に向けて、小・中学校への働きかけもあり、Webサイトへの年間アクセス件数が増加していることは大いに評価できる。今後、益々の活用に向けてコンテンツの充実等が求められるとともに、授業での活用や精華町の歴史文化の普及に繋げることを期待する。 ● 文化財展示については、常設展示が可能な施設の模索の検討を進め、文化財の安全な保管とも合わせて施設を充実されたい。 ● これからの教育の在り方として、教育の機会が学校だけでとどまるのではなく、人それぞれの生涯にわたって、あらゆる機会にあらゆる場所において学習できるような社会の実現が求められている。 ● コロナ禍においても、精華町の歴史講演会を開催し一定の参加者を得ていることは、これまでの取組の成果として評価できる。今後も幅広い層の住民の方に本町の歴史や文化、産業などに興味を持っていただけるようなテーマ設定による講演会や取組を一層充実されることを期待したい。
<p>文化活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「精華町子どもまつり」や「精華町まなび体験教室」がコロナ禍の影響により中止になったことは、子ども達だけでなく、住民の方々にとっても残念なことであったと推察するが、地域で子どもを育てる重要

	<p>な活動として、安全な居場所づくりを確保する活動を、今後も感染症対策を徹底しつつ継続して取り組むことが必要である。また、内容を充実させるための人材の確保は重要な課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次年度は、町全体の活性化のためにも、また、町民の憩いのためにも、さらなる工夫や改善のもと、各種イベントが実施されることを期待する。 ● 文化協会主催の「せいか文化フェスティバル」もコロナ禍の影響により中止となり、例年のような活発な文化活動が展開できない中でも、各サークル活動、展示会や文化協会だより発行など粛々と文化の灯を掲げていく活動が行われたことに、関係の皆様方のご尽力に敬意を表したい。 ● コロナ禍における成人式の開催について、成人自らが作る成人式を開催できたことは喜ばしいことであり、今後も実行委員会形式の成人式を祝うことができることを期待する。
<p>スポーツ活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 精華マラソンやせいか健康・スポーツ交流フェスティバルなどのスポーツイベントが、コロナ禍の影響のため中止になり、また、スポーツ施設の利用者やスポーツクラブ会員数も減ってしまったことは大変残念である。次年度は、より多くの町民や子ども達が、様々なスポーツ活動に参加できることを期待する。 ● 様々な社会体育施設で一時閉館や時間短縮の期間があり、スポーツ活動は実施が困難な中であつたが、利用者数は目標に比べて多いことから、生涯スポーツ活動へのニーズの高さが見られる。 ● コロナ禍においてスポーツ事業参加者の減少は否めないが、それ以前から減少傾向にある要因を分析し、見直しや改善など町民のニーズに応じた事業の工夫を検討し、町民のスポーツライフの充実を進めることを期待したい。 ● 体育施設の老朽化や備品・設備の故障・破損は、怪我につながるものが多々あり、安全安心な活動を保障するため、定期的な点検・整備・更新に努めてもらいたい。
<p>図書館活動の推進と充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和2年度は、コロナ禍の影響のため図書館が一時閉館されたこともあり、住民一名あたり図書館資料貸出点数や蔵書回転率、貸出点数などは減少したが、予約・リクエスト受付件数は増加し、また貸出点数や来館者数が減少したとは言え高水準にあることは、日常的に住民の多様なニーズに対応している図書館活動の賜物であり、公立図書館と

しての役割をしっかりと果たしていると言える。

- 旬のテーマを捉えた効果的な資料展示やインターネットサービス、読書手帳など、住民の視点を大切に、利便性を高める推進事業は特筆すべきものがある。
- 今後、図書館活動においても、ますますデジタル化が進展することが予想される。インターネット上のサービス機能の向上など、次世代の図書館経営の在り方について、さらなる工夫・研究に努めてもらいたい。
- 「子どもの読書環境整備5カ年計画（第4次）」に基づき、学校への団体貸出は、各小・中学校の「朝の読書」など読書活動を推進する大きな支えとなっており、おすすめ本のパンフレットは子どもの様々なニーズに対応した選書力を高めることにも繋がり、高く評価できる。
- 「華創」による本の紹介、視覚障害者情報総合ネットワークへの加入により障害者へのサービスの充実に努め、町民の誰もが本に親しむ図書館作りが推進できている。
- 図書館イベントとして、文学講座、親子手作り教室、雑誌と本のリユース・デー等、多様な取組によってニーズに応じた場を提供することで、資料利用の促進に繋げることに取り組み、住民の生涯学習を支える資料情報拠点となっており、今後も先進的な取組を発信していただきたい。

2. 全体評価

事 項	評 価 ・ 意 見 等
教育委員会 運営全般	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育委員会会議については、毎月1回定例的に開催されており、教育現場の実情、各教育課題を的確に把握し、情報共有しながら、適切な議論や審議が行われている。会議の内容については、議事録がホームページにアップされており、開かれた教育行政としての姿勢を感じる。 ● 町長と教育委員会との連携においても、年間3回総合教育会議が行われる（うち1回は書面表決）など、教育課題について各部局とも意思疎通を図り、課題解決に向けて横断的に協働して取り組み、教育行政を推進する姿勢は高く評価される。 ● 会議では、26件の審議が行われ、また、84項目に渡って報告が行われているが、どの内容も重要な案件ばかりである。特に、新型コロナウイルス感染症への対策、GIGAスクール構想への対応など、精華町の現状や対応に対する審議が丁寧に行われ、コロナ禍にあっても教育の停滞が起こらないように努力されていることが推察される。 ● なお、今後、様々な関係者の期待と関心に応える教育委員会として機能を高めていくために、教育委員会の審議に付すべき事項、報告すべき事項を、前例にとらわれることなく、また、適時、適確に行われるよう、教育長及び事務局はさらに意を用いることを求めたい。 ● 「その他の活動」として、精華町の全ての小・中学校を訪問されている。教育施策の推進に当たっては、机上で考えたり判断するのではなく、様々な教育施策がどのように反映できているか、学校現場に出向き、授業をはじめ様々な教育活動を視察すること、何を困っているのか、子どもの学びの姿はどうかなど、校長先生や多くの先生から生の声を聞くことが大切だと考える。こうしたことは「その他の活動」という表現より重みのあることであり、今後とも、現地現場主義のもと、積極的に学校や教育施設の訪問をお願いしたい。 ● 後援状況としては、コロナ禍の中においても社会教育関係52の事業、社会体育関係4つの事業に対して後援しており、安全安心な社会教育の推進への支援を行っている。こうした教育委員会の積極的な姿勢は、今後も続くであろうコロナ禍における町民生活の充実を応援するものとして期待される。

<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 精華町の教育行政について、コロナ禍の影響を受けながらも様々な手立てを講じ、学校教育において質の高い学力の充実・向上、子どもたちの主体的な学びを引き出す授業改善、手厚く丁寧ないじめや不登校対策など有意義な学校生活の実現を目指す取組が進められていること、また、生涯学習の視点からの文化活動・施設設備の充実等、町民のニーズに応じた取組の推進が如実に分かる報告内容であり、精華町の教育行政の成果を感じることができる。 ● 現在コロナ禍にあつて、学校教育における課題は、①学力の充実・向上、②特別な支援を必要とする児童生徒への対応、③教職員の働き方改革、④ICTの整備・活用、⑤新学習指導要領への対応だと言われている。(京都府内小・中学校長に対するアンケート調査より 令和2年11月実施) ● どの課題も簡単に解決できるものではないが、今後とも学校教育の充実に向けて、学校と教育委員会が一丸となつて、課題の解決に努めていただくことをお願いしたい。 ● コロナ禍など、どんな状況にあつても、「未来を生き抜く子どもたちの育成」を掲げる精華町の教育大綱を実現するために、先見性・柔軟性・俊敏性のある教育委員会を中心とした学校教育・社会教育の力の発揮を期待する。
------------	---

事業評価をいただいた方（敬称略）

沖田 悟傳（同志社大学教授、元中学校長）

橋本 京子（京都文教大学教授、元小学校長）